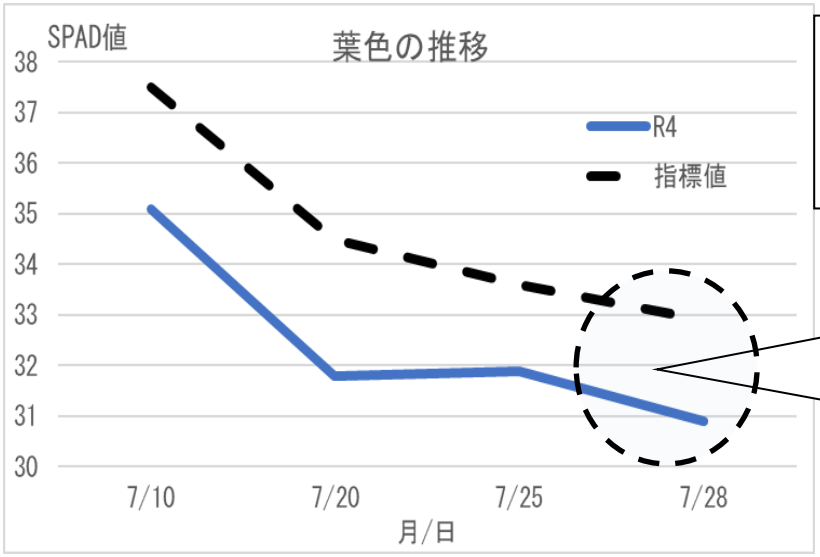
コシヒカリ生育情報　第８号

令和４年７月 29 日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX　：025-792-9006

葉色が淡い！
後期栄養対策として追加穂肥の活用も！！

１　葉色の推移（7/28 調査　調査ほ 14 ほ場平均）



葉色は穂肥施用等により上昇したほ場もみられるが、全体的に指標値に比べ淡いほ場が多い。

後期栄養の不足が懸念

追加穂肥の対応が必要

２ 今後の天気（ 7 月 30 日～8 月 29 日：新潟地方気象台 7 月 28 日発表）

向こう１か月は平年に比べて**晴れの日が多く、平均気温が高い確率 60%**

３　今後の管理のポイント

（１） ３回目穂肥（追加穂肥）の検討

ア　分施と基肥一発体系いずれの場合も、出穂期の葉色が SPAD 値 33 を下回ると予想される場合、分施体系では出穂期３日前までに、基肥一発体系は出穂期 10 日前までに窒素成分で１kg/10a 程度をめやすに追肥する。

イ　穂肥は肥効を高めるため、必ず湛水して施用する。

（２）水管理

ア 出穂期にかけて稲が水を必要とするため、飽水管理を徹底する。その後も根の活力維持のため、出穂期 25 日後まで継続する。

イ フェーン・異常高温の緊急情報に注意し、強風やフェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、 障害の発生防止に努める。

（３）病害虫防除

ア 葉いもちの発生が各地で確認されている。コシヒカリ BL 以外の品種で葉いもちの 発生が見られるほ場は、直ちに粉・液剤による防除を実施する。

イ 斑点米カメムシの防除は、出穂状況を確認し適期に薬剤防除を実施する。